

令和3年5月6日

それでは、あらためて呼びかけをさせていただきたいと思えます。

ゴールデンウィークが終了しまして、普段の勤務や通学に戻るなど、人の移動の状況が変化する中で、4月26日に発出させていただいた緊急警戒宣言改訂版をふまえ、あらためてご注意いただきたいことについて、県民の皆様に呼びかけをさせていただきます。

緊急警戒宣言改訂版では、県民の皆さんに対して、県内においても移動する際には必要性、安全性について慎重にご検討いただくようお願いさせていただいているところです。

あわせて、飲食店の皆様に対し、感染対策の徹底に加え、20時までの営業時間の短縮を要請させていただいております。県ではその要請に合わせて、ご協力の状況を確認するため見回りを行っているところですが、5月5日までに対象店舗のうち、71.9%にあたる6573店舗について確認を行い、そのうち98.6%の店舗にご協力をいただいております。

苦しい中ご協力をいただいている飲食店の皆様に感謝を申し上げたいと思えます。

なおこの対象店舗は、この後まだ増えたり減ったり、減ることないですけど、増えていきますので、この進捗率は現時点のものということで、あくまでとらえていただければと思います。

県としましても、県民の皆様が安心して飲食できる環境づくりを進め、経済再生にもつなげていくため、感染防止対策に取り組む飲食店等を認証する制度を、5月中旬に創設いたしますので、引き続きご協力をお願いしたいと思えます。

飲食店への営業時間短縮をお願いした20時以降の人流の状況として、緊急警戒宣言改訂版発出後の近鉄四日市駅付近の21時時点の状況を見ますと、時短要請前の19日の週と比較して、最大で約52%、平均でも約26%減少しており、特に土日の減少割合が高くなっています。

夜間の人流の状況については、第3波の際に営業時間の短縮をお願いさせていただいた時より人流の減少は大きくなっており、飲食店の皆様に20時以降の営業控えていただいたことの効果が現れたものと考えています。

(資料を掲示) ちょっと月曜日がこっちにきてるんで、ちょっとわかりにくいんですけども、26日から、26日がこっちにあるとわかりやすいかもしれませんが、最大でというのはここです。

近鉄四日市市駅付近の夜は、土曜日が一番多くなります。これは毎週同じ傾向です。土曜日が一番多くなるので、ここで比べますと47.7%。ですから、52.3%減ったと。半減以下というふうになります。

それ以外は、平日金曜日とかは23%減っているとか、ここは41%減っているということで、こういう形で平均で約26%、最大はここと、特に一番多い土曜日のところが減っているというのは非常に大きいことではあると思えます。

こういうような形で、これは前回、時短要請をやらせていただいたときよりも減ってい

るということで、飲食店の皆さんのご協力、大変ありがたく思います。

一方で15時時点、昼間ですね。昼間の人流の状況を見ますと、津駅については、祝日休日は減少しているものの、平日は発出前から大きな変化はありません。

近鉄四日市駅については、平日の減少が見られないことに加え、特に土曜日においては人流が増加していました。

昼間はどちらの駅においても、周辺にお勤めの方が多くいらっしゃることもあり、大きな減少に繋がらなかったものと考えられます。

(資料を掲示)これが昼間ですね。白が津で、黒が四日市です。

ここが100%のラインですので、見ていただきますと、日にち書いていますが、四日市の場合はずっとほぼ100%のところを行き来しているような状況で、特に土曜日、5月1日の土曜日とか、24日の土曜日、夜は、土曜日は減っているものの、逆に昼間土曜日、少し増えているというような状況であるのと、津駅の場合は、土日はちゃんと減っていったんですけども、平日のところはこの100%ラインに結構張り付いているという状況です。これここ土日。ここはゴールデンウィークですね。というような状況になっているので、後でも言いますけれども、この昼間、津駅とか四日市駅周辺とかは、例えばテレワークとかもっとできる余地の職種も多いと思いますので、そういうところをぜひさらに強くお願いをしていきたいと考えています。

それから、それを少し申し上げたいと思いますが、感染を減少させるためには、人と人との接触機会を少なくすることが重要です。緊急警戒宣言改定版でもお願いさせていただいていますが、県民の皆様には、外出の必要性、安全性について今一度ご検討をお願いいたします。

また、事業者の皆様におかれましては、事業所内のクラスターも複数発生する中、可能な限り、出勤者の5割以上削減に取り組んでいただくよう、あらためてお願いをします。

ゴールデンウィークが終わり、実家やご家族の元へ帰省されていた方も、勤務に戻られることかと存じますが、感染が拡大している地域との往来があった方などは、特に体調の変化にご留意をいただき、体調が悪い場合は出勤を控え、早期に医療機関等へご相談をお願いいたします。事業所の皆様におかれましても、従業員の皆様の体調管理の徹底をお願いしたいと思います。

これは実際、直近数日間の中での感染者発表させていただいた感染者の事例の中でも、こちらに単身赴任などで来られていて、感染拡大地域に帰省をされて、戻ってきて感染が確認されているとか、あるいは感染拡大地域からこちらに帰省をされてきて、こちらで発症して、というケースが実際にありますので、今申し上げましたとおり、そういう帰省等された場合、体調の変化に十分ご留意をいただいて、体調悪い場合は出勤を控え、早期に医療機関への相談をお願いしたいですし、事業所においても、そういう体調管理の徹底をお願いしたいと思います。

また、県内の主要な観光地の1つであります、伊勢神宮の周辺においては、新型コロナウイルス感染症の発生前と比較すると減少しているものの、連休に入ると訪れる方が急増し、三重県緊急警戒宣言を発出した直後の土曜日である4月24日と比較して、5月3日は約2.5倍と大幅な増加となっており、昨年同時期との比較においても大きな増加となっています。

(資料を掲示) これですね。この26日が時短要請です。その前の土日と比べますと、この5月3日が2.5倍になっているというような状況であります。

伊勢神宮に限らず、県外から多くの方が県内各地を訪れていただくことは、例年であれば非常に喜ばしいことではあります。全国的に感染が拡大している現状においては、県外からの訪問、特に緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が適用されているなど、感染状況が悪化している地域からの訪問は避けていただくようお願いをしたいと思います。

伊勢神宮、前年と比較すると、前年は内閣官房のホームページにも載せていただいでいて、主要な観光地30個ぐらいの中で1番人出が減っていたのが伊勢神宮なんですね。対前年と比べると、かなり大きい数字が出てしまいますけれども、直近で見てもこういうふうになっているということで、今申し上げたように、特に県外からの訪問の方も多かったですと聞いております。

病床占有率や重症者用病床の占有率が、引き続き高い水準で推移しており、予断を許さない状況が続いています。感染力が強いと言われる変異株が増加する中、3密の状況でなければ大丈夫と考えるのではなく、飛沫により感染が広がることを意識し、屋外など密閉空間でなくても、人が密集している場所は避けていただくなど、状況に応じ、飛沫や接触の機会を減らすための対策をお願いしたいと思います。

変異株が大変強い感染力なので、今いろんな専門家の方も、3密の3つがそろわなくても、1密でも2密でも感染する可能性があると言われているので、専門家の方もおっしゃっておられますので、あらためて、やる方法はマスクをつけるとか距離をとるとか変わらないかもしれませんが、その徹底具合をより徹底していただいて、3つそろわなくても意識をして、特に飛沫を意識して、対応していただきたいと考えています。

ゴールデンウィーク明けて通常の移動に戻る中での、またゴールデンウィークを踏まえた呼びかけは以上となります。